

モノづくり企業のエネルギーコスト削減の早期実施について —再生可能エネルギー発電促進賦課金制度の見直し・電気料金減免要件の緩和—



広報・情報委員会副委員長 梶 精能 氏 (㈱梶鋳工所代表取締役社長)

日本の産業用電気料金は、アメリカ、韓国等と比較し高いと言われている中、平成 24 年 7 月から「再生エネ買取賦課金制度 (FIT)」が始まり、電力使用量 1Kwhにつき 0.22 円、4 年目の今年度は 1.58 円と 7 倍にアップしている。今後、認定されたものが全て稼働すると、更なる企業負担の増加が懸念され、早期の制度見直しが必要であります。

昨年 4 月に国の「エネルギー基本計画」が閣議決定され原発を「重要なベースロード電源」と位置づけ、先頃、川内原発が稼働しました。際限なく負担が拡大する電気料金の低減のため原発稼働と FIT の撤廃を要望いたします。

また、再生可能エネルギー発電促進賦課金制度における「電気料金減免要件」を、加速度的に増加する電気料金の現状を踏まえ、早急に、減免要件を 8 倍から 5 倍に緩和して中小企業に配慮した基準にしていきたい。

電力料金制度改正は死活問題、産業界の声を踏まえ、国・電力会社に強く要望していただきたい。

知事 (答弁要旨) ……

再生可能エネルギーの導入は、エネルギー源の多様化や地球温暖化対策の観点から重要である一方、固定価格買取制度は、電力会社がエネルギーの買取コストを電力使用者である企業や家庭に「賦課金」として転嫁するものであり、ご指摘のとおり、特に電力を多量に消費する企業においては影響が大きく、コスト増加につながることから、経済団体が、制度の抜本的な見直しを要望していることは十分承知している。

県としても、全国知事会や国家重点要望を通じて、再生可能エネルギーの導入促進策の充実を求める一方で、ドイツのように賦課金制度の導入が電力使用者への過度な負担とならないよう、固定価格買取制度の適切な運用や、電気使用者の負担軽減を図るための措置の拡充を図ることを国に提案して参りたい。

モノづくり企業に対する人材確保の取組み支援の強化について —Uターン対策の強化等の充実、強化について—



事業企画委員会委員長 北村 哲志 氏 (ホクショー㈱代表取締役会長)

本県産業を支え、企業が成長する原動力は人材にあります。

現在、本県の 7 月の有効求人倍率は 1.47 倍 (全国 8 位) と平成のバブル期並に上昇しており、完全に売り手市場となっております。

県では就職活動する学生向けポータルサイトの構築や就職協定締結大学と連携した Uターン就職の取組み強化をいただいておりますが、依然として人材確保が厳しい現状であります。

2010 年を境に、我が国の人口減少傾向が鮮明となり、働き手不足が深刻化する恐れがあります。モノづくり産業は国・県の経済を支えている根幹であります。県内高校・大学卒業生の県内就職と県外大学進学者の県内回帰を促進する取組みが必要であります。

県では、少子高齢化が進む中、地域活性化のための「地方創生の石川版総合戦略」と「新たな県の長期構想」が検討されているとお聞きしております。一層のモノづくり人材の確保にむけた石川独自の戦略と具体的な施策の実施をお願いしたい。

知事 (答弁要旨) ……

景気の回復基調を背景として、労働市場が全国的に売り手市場となる中、学生の大企業志向の高まりや就職活動の短期間化などにより、県内企業、特に中小企業では人材確保が課題となっていることは承知している。県が昨年初めて実施した調査では、約 6 割が県外大学等に進学し、そのうち県内に戻って就職した方の割合は約 6 割、首都圏に限れば 4 割にとどまっているのが現状である。一方で、学生からは、県内企業の情報等の確実な発信や進学先の地域での企業説明会等の開催を求める声が多く寄せられたところである。

本県産業の活力向上のためにも、企業の人材確保を後押しすることは極めて重要であり、東京一極集中の是正など地方創生の観点からも、県として、県外へ進学した大学生の Uターン就職や県内大学で学ぶ学生の定着に対する人材確保施策の強化や、素晴らしい技術を持った県内企業の魅力発信に今後とも取り組んで参りたいと考えている。

業界振興懇談会講演より

「金融市場の動向」

熊木 泰彦 氏（野村證券(株)金沢支店長）

アメリカの経済成長率は雇用の回復と原油価格の下落に伴い、内需主導で堅調に推移し、非農業部門での雇用状況も失業率も横ばい、もしくは良好が見込まれている。政策金利は9月の利上げは見送られる公算が高く、12月に実施されると思われ、その際も上げ幅は緩やかなものであろう。

現在日経平均株価は下落しているが、年末までにもう一度下落局面を迎え、来年3月頃までに企業の業績に見合った内容での株価に落ち着きを取り戻し、回復をしていく見通しを描いている。



「日本経済の行方」 佐々木雅也 氏（(株)野村総合研究所未来創発センター戦略企画室上級エコノミスト）

ここ半月で中国経済の減速が起こっているが、日本ではリーマンショック程の状況ではないと考えている。

現在消費が期待していたほど伸びていないが、その最大の要因は賃金の伸びよりも更に物価が上がってしまっていることにある。円安による輸入品の上昇や消費税増税が大きく影響している。しかし、原油価格が低いまま推移し、物価の上昇が緩やかになれば消費の伸びも上がってくるのが期待できる。

また、設備投資も戻ってきてはいるが、内容は「維持・補修」のための設備投資が「増産」のための設備投資を上回っている状況である。

中国では相当悪い状況が報道されており、設備・在庫も過剰となっている。今後、企業の淘汰、在庫の調整が厳しく進んでいこう。しかし、中国の賃金がここ15年で6倍となっており、企業も人手不足の状況が続く限りは個人消費が景気の下支え役になっていく可能性がある。



協会トピックス

石川県モノづくり企業展示・交流会 in 本郷

開催日：平成27年8月5日(水)

会場：医科器械会館（東京都文京区本郷）

共催：商工組合日本医療機器協会

後援：石川県、(一社)日本ものづくりコモンズ他6団体

展示会出展者：会員企業18社

展示会来訪者：90社・団体、130名

東京帝国大学医学部が創設されて以来、関連する医療機器製

販企業が多数集積し、“メディカルヒルズ本郷”と称されている東京・本郷地区で初めて「医療機器関連技術・製品の展示商談・交流会」を開催しました。製品・技術をじっくり見てもらう実利主義の展示会であり、事前に製販企業とのマッチングをし、ビジネスチャンスの出合いの効率化を図るなどマッチング重視の展示・商談会であり、延38回の個別商談会が開催されるなど会場は新たなビジネスチャンスを求める参加者の活気に包まれました。

展示商談会終了後、懇親交流会を開催し、本郷エリア企業13社が自己紹介を行い、参加者相互が胸襟を開き、連携実現に向けた意見交換の場となりました。



環境委員会視察会

開催日：平成27年7月8日(水)～9日(木)

視察先：稚内メガソーラー発電所、宗谷岬ウインドファーム

参加者：11名

今回視察した稚内メガソーラー発電所は世界で3番目の発電規模の施設です。また、宗谷岬ウインドファームは風車が57基

設置されており、国内で最大規模の風力発電施設です。この両施設及び地区内の風力発電を合わせた電力で稚内市の電力の4分の3を自然エネルギーで供給していることに驚きました。

北限の稚内市での太陽光施設と風力発電のコラボレーションは、我が国のモデルケースであり、自然エネルギー（太陽光・風力）の活用について様々な課題を克服して、今後エネルギーの自給自足による「人と地球環境にやさしいまち」を稚内市は目指しているとのことでした。



MOT先進工場見学会

開催日：平成27年7月22日(水)～23日(木)

視察先：安田工業(株)、(株)滝澤鉄工所、帝人ナカシマメディカル(株)

参加者：31名

今回、岡山県の3社を訪問しました。

安田工業(株)は『最大ではなく最高を目指す』をスローガンに、世界最高峰の超高精度マザーマシンの開発に不可欠なキサゲ作業の徹底した生産ライン等、他では稀有な取り組みが製品に反映されている事を再確認しました。

(株)滝澤鉄工所は1944年創業の旋盤メーカーとして現在に至っており、生産ラインでの工程毎の品質管理や完成総合検査体制について大変参考となりました。

また、工場内のLED化や土壌蓄熱式放射暖房システム等、環境保全への取り組みにも感心しました。

帝人ナカシマメディカル(株)は人口膝関節や人工股関節を中心とした整形外科用インプラント事業に取り組んでおり、当協会会員企業でもチタン等の加工まで可能な企業はありますが、次工程の洗浄、生産施設内の抗菌体制等のノウハウが重要であることを改めて認識しました。



第Ⅳ期医療健康機器研究会<第1回研究会・医療健康機器産業セミナー>

開催日：平成27年7月2日(木)

会場：石川県地場産業振興センター

“業界のトレンド情報”として、久保田博南アドバイザーより「ヘルスケア産業とロボット」について、(一社)日本医工ものづくりコモンズ理事の柏野聡彦氏より、「無理なく円滑な医工連携のかたち」について紹介していただきました。

引き続き開催したセミナーには68名が聴講し、(一社)日本医工ものづくりコモンズ常任理事の谷下一夫氏が「医療ニーズに即した医療機器開発の重要性」を強調、また、理事の柏野聡彦氏より「医療機器メーカーとものづくり企業とのマッチング最新事情」と題して、医療ニーズを如何に機器の開発に結び付けるか、実情とあるべき姿についてお話を伺い、マッチングの実情など活発な質疑応答がありました。



「水素エネルギー」講演会

開催日：平成27年8月25日(火)

会場：金沢東急ホテル

参加者：60人

講師に金沢大学理工研究域准教授の榎本啓士氏をお迎えし、「日本のエネルギー消費における水素の可能性」と題してご講演いただきました。

今後のエネルギーとして石油に代わる水素の可能性についてお話しいただきましたが、結論として水素が石油のポテンシャルを越えれば水素エネルギーが普及するが、越えなければならないハードルもあるとのことでした。



「マイナンバー制度」講演会

開催日：平成27年9月9日(水)

会場：金沢市ものづくり会館

テーマ：マイナンバーは日本の風土を変えます

～マイナンバー制についての概要～

講師：池水 龍一氏

(さわやか税理士法人池水龍一事務所代表・公認会計士)

参加者：78名

今年10月に個人番号が記載された「通知カード」が各世帯に順次送付され、平成28年1月からスタートする「社会保障・税番号制度」(マイナンバー制度)について、制度の概要や事業者に必要な対応策、特に実務担当者の目線から必要なことを解説いただきました。(詳細については別紙参照)



青年部会だより

8月28日(金)に富山県機電工業会青年部会、福井県機械工業青年会、京都機械金属中小企業青年連絡会との4府県合同研修会を82名が参加して富山県で開催しました。

(株)YKKの工機事業部を見学させていただいた後、富山県機電工業会の会長でもある大谷 渡副社長から「YKKにおける技術経営の考え」と「富山県のものづくりの強みと産学官金の連携」と題し、それぞれのお立場からご講演いただきました。

その後、会場を移し懇親会を開催し、県の垣根を越えて大変有意義な情報交換を行いました。

また、7月30日(木)には次世代経営者育成講座を開催しました。今回はカジレーネ(株)へ伺い、カジグループの梶 政隆社長から同世代の経営者としてお話しいただきました。

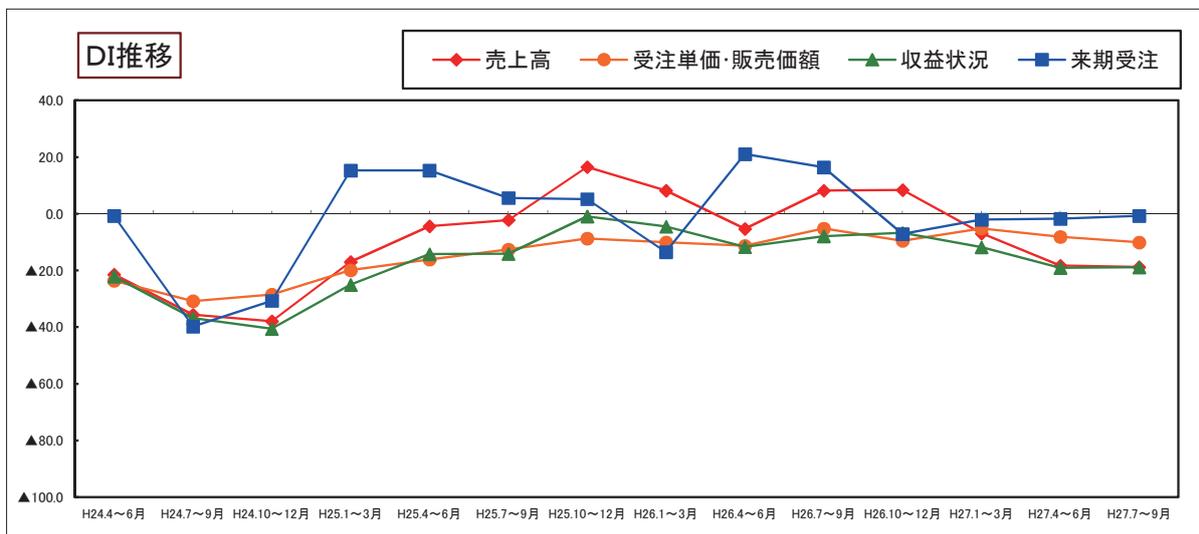


DI調査結果（平成27年7-9月期）

概況総括：『全体的には停滞感があるが、企業間では、繁閑の差があり景況はまだら模様である。』

【調査概要】

1. 今期（平成27年7-9月期）の業況調査DI12項目では、プラスDIは「原材料単価」2.1（前回▲15.4）「生産設備」4.4（前回1.9）の2項目（前回1項目）である。
2. 現在の経営状況を示す「売上高」から「生産設備」までの9項目では、
 - (1) 景況感を端的に表す「売上高」▲18.8（前回▲18.3）は、前期大幅にマイナスとなったが、今期はわずかながらの減少であり、全体の状況としては前回同様である。
また、「受注単価販売価額」▲10.1（前回▲8.1）、「資金繰り」▲6.6（前回▲6.0）、「取引条件」▲2.8（前回▲1.8）も同様に若干の悪化・減少となっている。
「原材料単価」2.1（前回▲15.4）については、平成24年10-12月期以降11期ぶりのプラスとなった。
 - (2) 現場の繁忙さを表す指標では、「操業率」▲7.3（前回▲5.5）はマイナスが進むが、「受注残」▲7.0（前回▲9.8）は若干改善しており、一部の企業は仕事量を確保している。
また、「生産設備」4.4（前回1.9）についても、設備不足との回答が増えており、県内製造業の繁忙についてはまだら模様である。
3. 「来期受注」▲0.7（前回▲1.8）はわずかな改善であるが、一方で「来期採算」▲10.1（前回▲9.2）、「来期資金繰り」▲7.7（前回▲6.7）はやや悪化となっている。
4. 「企業経営上の悩み」については、「受注不安定」48.2（前回46.7）が引き続き上昇している。「人材不足」25.9（前回19.7）は前回までは下降傾向にあったが、再び上昇した。
5. 今期は、生産設備関連で省エネ補助金やものづくり補助金等による繁忙はあったが、全体としては中国経済の減速等の影響もあり停滞感が強く、前期とほぼ横並びの結果となった。
しかしながら、同じ業種でも一部の企業では繁忙が続いており、県内製造業の景況はまだら模様である。



平成27年度 研修スケジュール(予定)のご案内

きでんスクール		技能継承スクール 共催：ポリテクセンター	
10月	14日(水)	安全活動の進め方 受講料：3,000円	
11月	20日(金)	QC教育 受講料：3,000円	11日(水) ～12日(木) TIG溶接実践技術(ステンレス鋼板材編)② 受講料：9,000円
12月	16日(水)	設備保全 受講料：3,000円	8日(火) ～10日(木) 精密測定技術② 受講料：6,000円
1月	22日(金)	なぜなぜ分析でクレーム撲滅 受講料：3,000円	13日(水) ～14日(木) 半自動アーク溶接実践技術② 受講料：8,000円
			26日(火) ～28日(木) 有接点シーケンス制御の実践技術 受講料：6,000円
2月	17日(水)	生産技術の考え方・進め方 受講料：3,000円	16日(火) ～18日(木) 有接点シーケンスによる電動機制御の実務 受講料：7,000円
3月	18日(金)	ヒューマンエラーと仕事のポカミス対策 受講料：3,000円	

デザインセミナー		
10月	30日(金)	自社商品を見直し新規顧客を発掘する(企画担当向け) 受講料：無料
12月	11日(金)	自社商品の魅力を見直す(仮題) (製品開発担当向け) 受講料：無料
1月	22日(金)	商品売り込む(仮題) (営業販売担当向け) 受講料：無料

技術セミナー(基礎編)			
12月	中旬	鋳物概論	受講料：2,000円

詳しくはホームページでもご覧いただけます。
URL：<http://www.tekkokiden.or.jp>

平成27年度 協会スケジュール

開催日	内容
会 議	
10月29日(木)	総務・事業企画合同委員会
12月2日(水)	見本市委員会
12月3日(木)	広報・情報委員会
12月9日(水)	ものづくり活力提言特別委員会
H28 1月28日(木)	正副会長会議、理事会
行 事	
10月7日(水)～14日(水)	海外経済視察(イタリア・ミラノ)
10月8日(木)～10日(土)	METALEX VIETNAM 2015 出展(ベトナム・ホーチミン)
10月22日(木)～24日(土)	青年部会視察研修会(沖縄県)
10月29日(木)～30日(金)	先進地域企業視察(長野県・伊那地区)
11月11日(水)～12日(木)	メディカルクリエーションふくしま2015 出展
11月18日(水)～21日(土)	METALEX 2015 出展(タイ・バンコク)
11月19日(木)	第51回功労者・永年勤続者表彰式
11月25日(水)	第2回次世代経営者育成講座
12月2日(水)～5日(土)	Manufacturing Indonesia 2015 出展(インドネシア・ジャカルタ)
H28 1月19日(火)	石川県知事及び金沢市長へ平成28年度予算要望
H28 1月28日(木)	平成28年新年会員懇親会
H28 2月24日(水)～26日(金)	関西医療機器開発・製造展出展

◆モノづくりサマースクール開催

小学生を対象に製造業に興味を持ってもらうため、工場見学とモノづくり体験教室を開催しました。

モノづくり体験教室として、タイルモザイクアート、革細工、銅板たたき、木工作、電子オルゴール等を製作し、4地区延べ159名の子供達がモノづくりの楽しさを学びました。



月 日	地区／参加者数	見学先	体験教室
8月4日(火)	七尾地区／30名	(株)エフラボ・ラポート	石川職業能力開発短期大学校
8月5日(水)	加賀地区／45名	小松ウオール工業(株)	ポリテクセンター石川
8月6日(木)	金沢地区／39名	(株)PFU	ポリテクセンター石川
8月7日(金)	小松地区／45名	コマツ粟津工場	小松産業技術専門学校

◆平成27年度プレミアム石川ブランド等製品認定会員企業一覧

	企業名	開発した新製品等の名称
プレミアム	かがつう(株) (株)金沢エンジニアリング システムズ	LED街路灯 LEDEEMA KLE-137(S)-20L/KLE-137(S)-30L 粋 [sui] PLESIDENT Series Calculator -加賀百万石仕様-

*当協会デザイン技術研修会講師の馬場 了氏(株)クルー代表取締役)が審査員を務めておいでます。

◆国の戦略的基盤技術高度化支援事業に会員企業1社が採択されました

(株)BBS金明：走行機能付次世代型5軸制御ロボット加工機の開発

【概要】 中小企業・小規模事業者が大学・公設試等の研究機関と連携して行う、製品化につながる可能性の高い研究開発及びその成果の販路開拓への取組を支援する。

補助事業期間：2年度又は3年度

補助金額：平成27年度に行う研究開発等に要する補助金の合計4,500万円以下

i 会員情報 平成27年9月15日までにお寄せいただいた内容を掲載しています。

◆代表者の変更

社名	新代表者名	社名	新代表者名	社名	新代表者名
(株)アクセス	鈴木 利彦	(有)鈴木工作所	鈴木 利一	(株)山本製作所	上田 則武
石川可鍛製鉄(株)	塩谷 栄治	長津工業(株)	津田 靖明		
(株)金太	南 志郎	発紘電機(株)	安西 信公		

◆社名の変更

新社名	旧社名
(株)幅田鉄工	幅田鉄工

i 事務局からのお知らせ

事務局参与 鳴瀬昌男 氏は平成27年9月30日をもって退職いたしました。

i ホームページ のご紹介



●協会ホームページ
<http://www.tekkokiden.or.jp>



●MEX金沢
<http://www.tekkokiden.or.jp/mex>



●金沢港ビジネス情報サイト
<http://www.knz-port.jp/>